

に取つては、なか／＼さうではありませぬ。丁度
 大きい小供が器械體操をしたり、大人が六ヶ敷事
 をすると同じ事で非常に身心が鍛錬されます。け
 れども無暗に大事を取り過ぎて、幼児が折角しよ
 うと思つた事を度々禁止いたしますならば、だん
 々／＼心が挫かれまして幼児は自分で事をしようと
 いふ心が少くなります。自分で身も心もはたらか
 すことが少くなりますから自然に身心共に十分發
 達いたしません。また、始終あぶない／＼といは
 れますから、極々やさしい事でなければ手を出さ
 なくなりません。困難辛苦までも胃して事をしよう
 といふ勇氣はなくなりませぬ。無暗に助を與へられ
 ますから依頼心がつよくなります。其影響するこ
 とは決して少くはありませぬ。私は曾て二十七八
 年の戦役後 ある兵士から次のやうな話をきか

した。

「私はちよいと時から、おぶない／＼といつて
 育てられたものですから、まさかの時にどうも
 氣がくれがいたして困りました」
 これは私共がかかる／＼しく聞き過してならぬこと
 ではありませぬか。進むべきとさに進む勇氣の
 ない者は、なすべきこと、守るべきことに對して
 もまた勇氣のない者でございませう。

學 校 病

醫學士 長瀬復三郎

此中に數へらるゝのは近視、脊椎彎曲、消化不良、
 頑固の頭痛、神經衰弱などです。統計上兒童が學
 校に入つて後之等の病にかゝるものが澤山ありま
 す。

(1) 近視 學齡以上の兒童が小學から中學と段々進むに從つて近視の比例は多くなる。又生れながら近視の者もありますが多くは學校で明かでない活字の本を讀んだり、又暗い處で物を見たり。前に屈んで本を讀んだり字を書いたりするやうな人爲の原因に由るものも澤山あります。又屋外で遠方を見て遠い處にあるものを見るやうに目を調節することの少ないのも近視の大なる原因です。一体網膜に物の影のうつるのは糸狀軸と水晶体の彎曲の度に關係する物である。處が近視となると其糸狀軸が長くなつて網膜の上に物体の像がうつらなくなるのである。近視を豫防するには教科書の活字の如何、或は時々郊外の青い茂りを見る等近く目をつけないければ見えないやうなことを永くつゞけないで遠距離の物をも見るやうにするのがよろし

い。

(2) 脊椎彎曲 之は學校時代の兒童に多くあつて

右側に傾くものが多い。其原因は人は幼時から右の上肢の筋肉をつかふことが左よりも多くをして筆記などには首を左にまげ右手を机上にかけて右の肩を前に出し身体をねぢらすやうのことが多くあるからです。又机の高さ、腰掛の不完全、光線の不十分などは大に關係するものです。又常に裁縫をして居る筋肉の薄弱なる女兒にも随分澤山側彎があります。凡て机の高さ、腰掛の具合、姿勢などに氣をつけることが必要です。

(3) 習慣性頭痛と習慣性衄血 此二は學校に於ける腦の充血が原因になるものです。そうしてこういふことが起ると空氣が不潔になつたのではないが、室内の溫度が不適當ではないか、又腦及神經

病の先驅ではないかといふことを調べなければならぬ。

りませぬ。さうして此二は年齢が進むに従つて増す

もので、よく原因を調べて過度の疲労させること

を避けなければなりません。

(4) 神経衰弱 之は精神を過度に苦めることの多

い生徒に澤山ある病で學科の非常に多い時又は試

験の前後に精神が勞れて鈍くなつて頭痛を起し一

の精神病の原因となることがある之等は須く授業

を節して体操をさせるか又は郊外に散歩させるが

よろしい。もし又其生徒がアルコール性の物や烟

草を嗜むならば嚴に之をとめなければなりません

ん。又遺傳の精神病をもつて居るものは特に注意

しなければなりません。

(5) 消化不良、貧血 此二は單に學校で起るもの

ではない。主なる原因は家庭にあつて寄生虫、出

血等に原因するものが多いのです。

今昔いろいろは料理

石井泰次郎

(ね)

ねり玉子

ねり玉子は、衛生薬として菓子店にて販ぐものと、

大方同じつくり方なり。

先玉子十個をねりて、能くかきませ、鹽少量と砂糖

多くと味淋をいれて、かきませて、白角天二本

ほどを水につけおきて、しばらく細かに切て、水

四合ほどの中へ入れて、鍋にて炭火にかけてとか

して、玉子の方を馬尾篩にてこして別の鍋に入れ

て、右の角天とかしたるを、馬尾篩にて漉して、

冷しおきたるを合せて炭火にかけて煉りつむるな